

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：健康栄養学部 名前：本多 美預子 作成日：2026年1月4日

1. 教育の責任

「健康的な食生活への行動変容を支援する専門家」として必要な知識と技術の修得を支援し、そのための教育内容の向上に努めている。

- ・栄養教育論Ⅰ（1年秋学期）・栄養教育論Ⅱ（2年春学期）・栄養教育論Ⅲ（3年秋学期）
- ・栄養教育論実習Ⅰ（2年秋学期）・栄養教育論実習Ⅱ（3年春学期）
- ・特別演習Ⅰ（3年春学期）・管理栄養士特講Ⅰ（4年春学期）・管理栄養士特講Ⅱ（4年秋学期）
- ・キャリアデザインⅠ（1年春学期）・キャリアデザインⅡ（1年秋学期）
- ・助産診断技術学Ⅲ 健康診査と健康教育技法（大学院国際看護学研究科 オムニバス）

*なお、担当科目は多岐にわたるため、以下では教育的工夫や成果が特に顕著な主要科目について詳述する。

2. 教育の理念

科学的根拠に基づく行動変容支援を通じて、人々の健康と幸福に貢献できる管理栄養士の養成に努めている。

3. 教育の方法

1) 講義科目（栄養教育論Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）

- ・朝倉書店『栄養教育論』を3年間継続使用し、教科書購入の負担を軽減
- ・毎回の講義でワークシートを配布し、PowerPoint 資料を活用
- ・授業冒頭での授業計画提示と前回内容の振り返り実施
- ・教科書のマーカー指示とワークシートへのポイント記入で重要事項を強調
- ・授業終了前の内容確認により知識定着を促進

2) 実習科目（栄養教育論実習Ⅰ、Ⅱ）

- ・実習1週間前にel-Campusで資料を配信し、実習後に課題提出
- ・テキストは実習ワークブックと『栄養教育論』を使用

実習Ⅰ：

- ・栄養教育教材の作成
- ・食事・生活調査による診断表作成
- ・学童期への食育発表（グループワーク）

実習Ⅱ：

- ・アセスメントに基づく問題抽出
- ・初回面談のロールプレイ演習によるコミュニケーション技法習得
- ・行動科学的手法とカウンセリング技法を用いた実践力の養成

4. 教育の成果

- ・授業の出席状況、期末試験の成績、レポート課題の作成状況、授業アンケートを参考にしている。
- ・実践的スキル習得：食育講座発表、個別面接（30分）、栄養カウンセリング（15分）、教材作成

5. 改善への努力と今後の目標

理論と実践をつなぐ栄養教育の理解を深めるために、デジタル教材や el-campus を効果的に活用して、学生の学習効率向上に

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：健康栄養学部 名前：本多 美預子 作成日：2026年1月4日

努めたい。学生一人一人の生活や経験と栄養教育が密接に関連していることを再認識させ、実践的な学びへのモチベーション構築の足掛かりとしたい。

【添付書類】

非公開

栄養教育論Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ授業スライド、ハンドアウト

栄養教育論実習ワークブック